

Neo Sprint Race Series

黄色部 2026 シーズン変更点

タイムスケジュール

- 9：30～クラブハウスオープン
 - 10：00～10：30 受付
 - 10：30～ドライバーズミーティング/車輛抽選
 - A 前半組練習走行 2分30秒⇒A 前半組スーパーラップ TT
 - A 後半組練習走行 2分30秒⇒A 後半組スーパーラップ TT
- ※B 組以降同様に続く

- 集計
- 予選レース①10周(※1)A→B→C
- 集計・車輛抽選
- 予選レース②10周(※2)A→B→C
- 集計・車輛抽選
- 決勝レース 15周(※3)C→B→A

タイムトライアルはスーパーラップ方式を採用し予選グリッドを決定とします。

8台同時出走でのスーパーラップが困難なため4台ずつに分かれての走行となりますが、後半アタック組が不利とならないよう練習走行の段階から4台ずつに分かれての走行となります。(朝の段階で前に並んでいる4台が前半組乗車車両)

(※1) TTのタイム順により予選レース①を行う。(組分け無し・車両固定)

(※2) 予選レース①の結果順により予選レース②を行う。(組分け無し・車輛抽選あり)

(※3) 予選レース②各組の上位組(A組)、中位組(B組)、下位組(C組)でクラス分け

競技参加における規則

競技に参加するドライバーの最低重量はヘルメット・グローブ・シューズ・リブプロテクターを外した状態で65kg以上とします。

第2戦以降シリーズポイント40pt毎に+1kgのハンディを加算する。(※65kgに対して)

但しハンディ装着による重量の上限を70kgまでとし、それを超える分は免除とする。

また女性選手のハンディウエイト加算も免除される。

(※)例えば開幕戦で40pt以上獲得の場合は第2戦の基準体重は66kg合わせとなるが、元々の体重が66kg以上ある場合は+1kg加算の必要なし。

→重量合わせのウエイトジャケットは当施設で貸与致しますが、数に限りがあるので自前のウエイトやポーチなどで調整していただけるととても助かります。

チェッカー後上位3名は体重計測をすること。この時基準の65kgに対して0.6kg以上下回っていた場合は12秒加算のペナルティとする。(ハンディ持ちはハンディ重量基準)

70kg 以上の方で車両優先選択権を持つてゐる方は、計測体重に対して 0.6kg 以上下回っていた場合は 12 秒加算のペナルティとする。

練習走行～予選レースまでの組分けについて

- ・ポイントランキングを基に上から A→B→C と分けることとする。
- ・初戦に関しては前年のランキングを基準とする。
- ・初参加の方などポイントを有してない方は次に受付順で分けることとする。
- ・尚、予選レース終了までは同じ組分けのまま行います。

車両抽選について

①各組の 70kg 以上の方から重たい順で優先的に選択できることとする。

②各組のグループ表下位の方から抽選。

※救済措置として以下の場合には次戦、車両選択権が与えられる

- ・決勝レース中、走行不能に陥るレベルのマシントラブルによりレースを失った場合。
- ・決勝レース中、他車からの接触によるスピニアウトやクラッシュでレースを失った場合。※主にリタイヤや最下位ゴールの場合。いずれも競技長判断による。

(該当者が複数の場合はランキング下位より優先)

尚、救済による車両選択は 70kg 以上級選手の次で選択出来ることとする。

但し、元々車両選択権のある 70kg 以上選手の場合は最初に選択出来ることとする。

スタート(NSP 式 1 列ローリングスタート)

以下、スタート手順

○グリッド整列

↓

○1～3 周目ヒーティングラップ(季節により周回数は変動)

※尚、ヒーティングラップ中にスピンした場合は最後尾に回ることとする。

↓

○4 周目フォーメーションラップ

ヒーティングラップの終わりにコントロールラインからイエローフラッグを出しますので、そこからは速度を緩めてください。

先頭車両は 1 コーナーからは速度を落とし、いつでも隊列を作れる状態にしてください。

先頭車両が S 字を抜け、追い越し禁止解除ラインに差し掛かるタイミングで徐行状態にし 1 列の隊列を作ってください。

後続のドライバーは前車と間隔を空けずにトレイン状態で続けてください。

(この際、前の車をコツコツ押してしまうと車間や車速が乱れてしまうので一定の速度

と車間で隊列を組めるようお願いします)

各車ヘアピンを通過後、隊列が整ったとスタッフが判断をしたらグリーンフラッグを提示します。(不整列の場合はもう1周の合図)

グリーン提示後も徐行をキープし、指定された加速ゾーンの中で先頭ドライバーの任意のタイミングで加速を開始、レーススタートとなります。但しコントロールラインを通過するまでは前車を追い抜いてはならない。追い抜きが発見された場合はフライング扱いとなります。

また、コントロールラインを通過するまでは4本引いてあるコリドーラインの内、(コースイン側の線を1番線とした場合)2番線と4番線間の範囲内を通過すること。尚、ヒーティングラップ、フォーメーションラップ、スタートラップはショートコースを通過することとする。

※加速ゾーンはホームストレート上右手のコーン1本目からその先の2本目のコーンの間に設定します。

警告 (白黒のフラッグ)

- ・スタート手順違反の場合。(コリドーラインはみ出しなど)
- ・過度のブロック、パイロンタッチ、ピット内タイヤロック
- ・コース外走行(状況による)
- ・その他競技長の判断で警告が出る場合があります。
- ・警告は2回警告で1ペナルティとなります。

ペナルティ (黒のフラッグ)

- ・スタート時のフライング判定が出た場合。
→加速ゾーン前での加速やコントロールライン通過前での追い越し。
- ・後方からの過度のプッシング(順位が入れ替わらない場合でも)。
- ・他者を2ポジション以上落とさせるようなコース外やバリアへの押し出し。
- ・競技長が危険行為と判断した場合。
- ・ペナルティは「STOP/GO ペナルティ」もしくはゴール後、12秒加算にて消化。
- ・仮にTTまでにペナルティを負ってしまった場合はTTタイム抹消とする。

※より危険度・悪質性の高いアクシデントを起こした場合は競技長判断により当該レースへのペナルティと併せて、次戦TTの結果から3グリッド降格のペナルティも科します。

ポジションダウンペナルティ

・レース中にプッシングなどラフ行為で順位を上げたり、過度のブロックや進路変更による妨害で順位を守った場合、競技長判断でレース中に1ポジション降格ペナルティを科す場合があります。

その場合は当該車両のゼッケン番号と↓マークを提示しますので(黒旗は不使用)、出された選手は3周以内に後ろのドライバーに順位を譲ってください。

尚、その際に2台以上にまとめて抜かれてしまったとしても致し方ないこととする。

また、後ろにいるドライバー(譲る相手)が直接的に被害を受けたドライバーではなかったとしてもペナルティが消化出来たこととする。

・レース後の審議でゴール順位からnポジション降格ペナルティという処置をとる場合もあります。(n=行為の度合いと被害の度合いによる)

STOP/GO ペナルティ消化手順について

・フライング判定や累積警告、危険行為などによってペナルティの裁定が下された場合は黒旗とピットインボードの併用により当該ドライバーにSTOP/GOの指示を出します。

その場合当該ドライバーは3周以内にピットに入り指定した停止ラインで停車、その後スタッフの合図に従ってコースインしてください。

3周以上STOP/GOの指示を無視した場合は失格となります。

また、残り周回が3周を切った場合のペナルティに関しては黒旗のみの提示とし、その場合はゴール後に12秒のタイム加算にてペナルティ消化とします。

ピットレーンでは徐行厳守とし、速度超過やタイヤロックがスタッフにより確認された場合は更に警告対象となりますので十分ご注意ください。

ヴァーチャルセーフティーカー (以下 VSC) の導入

・マシントラブルなどでコース上でマシンがストップしてしまった場合(復帰できそうな場合は除く)、運営の判断によりリモコンリミッターを使用したVSCモードを導入する場合があります。全車スローダウン状態になっていますので車両トラブルと勘違いしてピットに戻ってこないようご注意ください。コースがクリアになり次第解除します。

赤旗

・赤旗が出た場合、赤旗が出る前週のコントロールライン通過順位でグリッドに並び、リスタートする。リスタートも1列ローリングにてスタート。

13周目以降(予選は8周以降)の赤旗については、レースは成立したものとし終了とする。(赤旗が出る前の周回の順位で決定とする)

シリーズポイントについて

2026年度は全6戦。ポイントは6戦中5戦有効とする。

※この規則はシーズン途中であっても、オフィシャルの権限により変更することができることとする。